

総合職試験(院卒者試験)

【専門試験(多肢選択式)】(行政)

「行政」区分は、選択Ⅰ(政治・国際系)、選択Ⅱ(法律系)、選択Ⅲ(経済系)の3つのコースに分かれています。問題集には選択Ⅰ・Ⅱ・Ⅲが全て掲載されていますので、試験開始後、3つのコースうちいずれか一つを選択し、必須問題と選択問題を合計して40題解答してください。

【選択Ⅰ 政治・国際系】

○必須問題

政治学10題、国際関係10題、憲法5題

○選択問題(30題中任意の15題選択)

行政学5題、国際事情3題、国際法5題、行政法5題、民法(担保物権、親族及び相続を除く。)3題、経済学3題、財政学3題、経済政策3題

【選択Ⅱ 法律系】

○必須問題

憲法7題、行政法12題、民法12題

○選択問題(18題から任意の9題選択)

商法3題、刑法3題、労働法3題、国際法3題、経済学・財政学6題

【選択Ⅲ 経済系】

○必須問題

経済理論16題、財政学・経済政策5題、経済事情5題、統計学・計量経済学5題

○選択問題(15題から任意の9題選択)

経済史・経済事情3題、国際経済学3題、経営学3題、憲法3題、民法3(担保物権、親族及び相続を除く。)3題

<受験者へのメッセージ>

選択Ⅰ

大学の専門課程で学習する内容を中心に、大学で使う基本的な教科書や白書を勉強するとよいでしょう。また、国際事情は、雑誌や新聞の記事、テレビのニュースで取り上げられた出来事などを勉強するとよいでしょう。



選択Ⅱ

大学の専門課程で学習する内容を中心に、大学で使う基本的な教科書や判例集を勉強するとよいでしょう。普段から条文をこまめに引き、条文に関する知識を正確におさえるとよいでしょう。



選択Ⅲ

大学の専門課程で学習する内容を中心に、大学で使う基本的な教科書や白書(経済財政白書等)を勉強するとよいでしょう。また、我が国の予算や財政状況などについて、新聞の記事、テレビのニュースで取り上げられた内容を勉強するとよいでしょう。

